

# 平成27年度 練馬区立富士見台小学校 学校経営計画

平成27年4月2日

校長 眞瀬 敦子

## 1, 目指す児童像 (校長のロマン)

豊かに感じる心 (感性) をもった子どもの育成

「豊かに感じる心」とは

- ・美しいものを美しいと感じる心
- ・人と関わることを楽しいと感じる心
- ・知的好奇心をもち、知ることを喜びと感じる心

## 2, 長期経営目標

(1) 今の子供たちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は激しい挑戦の時代を迎えている。

即ち、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境が大きく変化し、子供たちが就くことになる職業の在り方についても現在とは様変わりしていく。

こうした変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を子供たちに付けなくてはならない。

(2) 平成26年11月に『初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について』という諮問が、文部科学省の中央教育審議会より出され、今後の教育の方向が示された。

その中では「何を教えるか」から、「どのように学ぶか」という学びの質や深まりの重視、課題の発見と解決に向け得た主体的・協働的に学ぶ学習(アクティブラーニング)、そのための指導法の充実が求められている。

また、こうした学習・指導法の改革と併せて、学びの成果として「どのような力が付いたか」という学習評価の改善も図る必要がある。



### 〈児童に付けなくてはいけない力〉

- 何事にも主体的に取り組もうとする意欲や、多様性を尊重する態度
- 他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、コミュニケーションの能力
- 豊かな感性や優しさ、思い遣りなどの豊かな人間性
- 自分の学びや成長を自覚した自己有用感や、自尊感情

## 3, 目指す学校像

学校の教職員は、  
・用務のプロ      ・調理のプロ      ・事務のプロ      ・授業のプロ  
・経営のプロ      の集団である。五者が協力してはじめて、よりよい学校教育が行える。

一人一人が自分の仕事に自信と誇りと謙虚さをもち、互いを尊重しながら切磋琢磨していく学校でありたい。

子供は大人の姿を見て育つ。まず、私達教職員が常に学び続ける姿を子供たちに示したい。

そして、児童も教職員も、富士見台小の一員であることに喜びと誇りを感じ、毎日学校に来ることが楽しいと感じる学校作りを目指す。

#### 4, 中期経営目標

- (1)挨拶を手始めに、相手を思いやる心を育て、コミュニケーション能力を高める。
- (2)縦割り班活動、異校種交流などを通して、心の教育を充実させ、自尊感情、自己有用感をもつ  
た児童を育成する。  
また、規範意識をもち、自分で考え、行動できる児童を育成する。
- (3)児童の学力向上、教員の指導力向上を、算数を中心とした授業研究や算数少人数制の充実、  
昨年度までに学んだ体育科の授業研究の実践、若手研修の充実などを通して行う。  
高学年の学力調査や、スポーツテストの結果を有効活用する。
- (4)元気に外遊びをし、運動することが好きになるような指導を工夫する。縄跳び・マラソンの工夫  
自分の健康を自分で維持管理できる児童を育成する。
- (5)百人一首をきっかけに、日本の伝統文化や言語文化に慣れ親しませる。

#### 5, 今年度の目標と方策

##### 「かしこく」(学力向上)

##### (1) 教員の授業力向上

①学年会を事務連絡だけの場とせず、学びの場とする。

具体的には、教材研究を個人だけではなく学年で行い、学び合う。

そして、積極的に授業を見合う。

②主任教員は若手研修の講師として、全員が年に1回以上自分の得意な「わざ」を伝える。

方法は、OJTとして職員会議の後の短い時間等に、例えばパネルシアターが得意な教員だったら、その方法やコツを書いた紙を用意すると共に、実際にやってみせる。(計画は副校長)

③校内研のもち方

- ・研究は各ブロックで行い(学年だけではない)、授業者以外の学年担任が事前授業を行い、ブロックで見合う。
- ・指導案は二日前に配布し、全員が自分が授業をする視点で読み込んでおく。

##### (2) 読書活動の重視

①朝読書で学習をスタートさせる。、教員も必ず一緒に本を読む。(専科も職員室等で)

②教員による本の紹介コーナーの充実。

年3回以上掲示を取り替える。本を陳列する等、児童の読みたいという意識を刺激する。

③保護者ボランティアによる読み聞かせを広める。

④年2回の読書旬間の内容の充実を図る。親子読書を更に広める。

・全教員による読み聞かせの日

・上学年による読み聞かせの日

⑤読書目標の徹底

「読書1万ページ」「年間50冊」など、学年目標を明確にして達成させる。(統一できないか)

## ⑥地域図書館、図書館司書の活用

学年貸出を利用し、様々な本に触れさせる。

司書の丹羽さんに相談し、各教科の参考になる本を、事前に推薦したり集めてもらったりする。

## ⑦図書室の昼休み開館を全日行う。(図書ボランティア募集は、副校長→図書担当へ)

### (3) 学習規律の徹底

・まずは、黙って話を聞く。

・発言の仕方(指されたら返事・立って・聞き手の方を見て)

単語ではなく、きちんとした文章で話す。

・机の上の本やノートの置き方・鉛筆の持ち方・下敷きや定規の使用 (食事の仕方)

◎低学年のうちに徹底させるため、生活支援員、講師の先生方の協力を仰ぐ。

### 「やさしく」(豊かな心・思いやる心・強い心)

◎「困った子」はいない。「困っている子」がいるだけ。本人が一番苦しんでいるのだということを心に刻みつけてほしい。どんな言葉で言うよりも、先生の態度・接し方で、周りの子は学んでいきます。

### (1) 挨拶指導の徹底

昨年度の指導で、校門での挨拶は大変良くなった。今年度は、校内での挨拶(会釈)と共に、学校外でも進んで挨拶のできる子を育てる。

### (2) 縦割り班の活用

ねらいは、上学年の「自己有用感」の育成、下学年の「親しき仲にも礼儀あり」場にふさわしい話し方や態度の育成にある。

・特に、上学年の事前指導が大切。担当は、計画的に進めてほしい。

### (3) 規範意識の育成

・本校の児童には、集団になると流されてしまう弱さがある。例え一人になっても、正しいことを貫ける強さを身に付けさせたい。(場を逃さない指導、教師の賞賛)

・人の心を傷つけるような言動には、その場で毅然とした態度で指導する。

・道徳教材の研究開発。児童の実態にふさわしいもの、時を得たもの。

### (4) 異校種交流、デーサービスセンター等との交流

児童の社会性を養い、思いやりの心を育てる。

・南光幼稚園や保育園との交流を、他学年にも広げる。(高学年による読み聞かせ等)

・石神井東中学校の出前授業、演劇鑑賞、吹奏楽部によるミニコンサート・運動会の手伝い

・デーサービスセンターとの交流

### (5) 地域や保護者の方への感謝の気持ちをもたせる。

・地域や PTA 行事に参加するだけでなく、自分たちのためにやっていただいているのだという感謝の気持ちをもたせる。 まずは私達教員から。

## (6) 農園活動の充実

- ・3年生の沢庵作りのような、食育に繋がるダイナミックで保護者も巻き込んだ企画を、他学年も考える。

## (7) ビオトープの維持と活用

- ・まず、全教員がビオトープについて関心をもって学び、活用を図るところから始める。
- ・井東さんやボランティアの方への感謝の気持ちも忘れずに。

## 「たくましく」(体力向上)

◎校内研究、佐々木先生に学んだことを実践し、子供の体力の向上及び、自分の体のことを知り、目標やねらいをもって運動をしようとする子を育てる。

- (1) 昨年度のスポーツテストの結果、今年度の全学年が行うスポーツテストの結果を分析して、伸ばすべき力を明確にする。

そこから、児童の目標を明確にもたせ、達成感を味わわせる。

- (2) 縄跳び週間やマラソン週間に充実させる。縄跳びグループを招聘し、児童に広めたい。

- (3) 不登校を無くし、児童の心のケアを行う

- ・コーディネーターを中心とした特別支援体制を更に充実させる。

- ・木曜日の生活指導夕会を通して、問題を抱えている児童について全員で共有する。

(S C 河村先生が木曜日来校になったので、生活指導夕会と連絡会をうまく合体できないか)

- ・支援員・心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・巡回指導員・主任児童委員・民生委員・練馬子供家庭支援センター・児童相談所等との連絡を密に取り、児童だけでなく、保護者の支援もしていく。

## 6. その他の課題

- (1) 避難訓練・安全指導の見直し

- ・看護当番・避難訓練・日常の児童の動線・遊び・安全点検など、常に進行評価を行って、生活指導部を中心に、その都度改善を図っていく。

- ・大震災・大災害に備えた、引き渡し訓練の徹底

保護者メールへの全員加入      通学路の安全点検      ひまわり 110 番の家の確認

- (2) 学校から地域への発信

- ・育成委員や学校応援団の皆さん・PTA 役員の皆さん等、地域家庭の協力の下に学校は成り立っていることを自覚し、PTA 行事や校区祭など、できる限り教員も地域行事に参加、協力する。

- ・HP の更新を常に行い、学校からの発信をしていく。今年度は全員が作れるよう研修をしながら、「教室・専科便り」「クラブや委員会の様子」「給食便り」などを充実させる。

- ・廊下や教室の掲示物の管理。

### (3) 各職種の目標

#### 《事務・経理》

- ・重要書類、電子情報等の取り扱いに十分注意し、紛失、特に個人情報等の秘密漏洩事故が起きないように、管理を徹底する。
- ・給食事務では、今年度も給食費未納ゼロを目指す。
- ・購入備品の有効活用を図ると共に、無駄を見直していく。書類帳簿類の整理を徹底し、不要物の廃棄などを計画的に行う。

《用務》・老朽化している校舎だが、大変きれいに保ってくださっていることに感謝する。  
今後も安全点検・修理を怠らず、児童が安全に学校生活を送れるよう努める。

《給食》・食育推進の一翼を担っていることを自覚し、積極的に児童と関わる。  
・栄養士による栄養指導の授業を、更に充実させる。

《教員》・経営方針に則って、学年学級専科経営案・週案を作成し、期限内に提出する。  
・常に指導のねらいを明確にもち、公平な評価、保護者への周知徹底を図る。  
・先生の姿・言動を見て子供達は育つ。

美しい言葉遣い、正しい言葉遣いはその人の文化度を表す。

食事のマナーも同様。

服装、ヘアースタイルなど場に相応しいのはどんなものかを考える。

指導者として、だらしく見えないように。

・教室環境を整える。

教室内は常に整理整頓を心掛ける。ゴミだらけの部屋、ほこりだらけの棚、乱雑な本棚などの中にいれば、子供もそれが平気になる。教卓の周りが汚いのは、個人情報の面からも問題である。

例えば掲示物；古い物がいつまでも貼られている・曲がったり破れたりしている・字の間違ひがある等が、平気になってしまわないようにしたい。

印刷室や教材室なども、ほんのわずかな時間と心遣いで、きれいに保てる。忙しいというのは言い訳にならない。誰かが尻ぬぐいをしている事を忘れずに。

☆私達が豊かな内面をもち、個性を伸長し、目標に向かって生き生きと毎日を過ごしましょう。